

経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

熊本県 熊本市

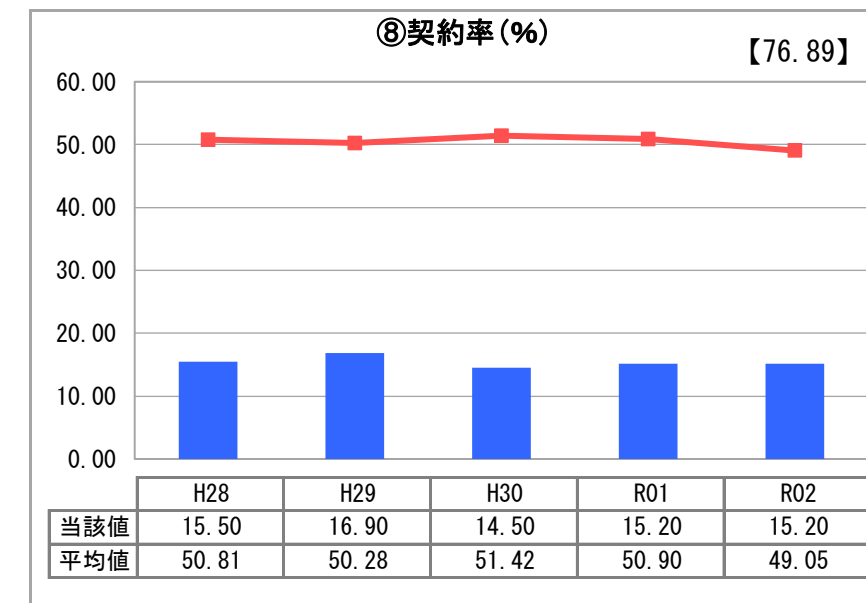
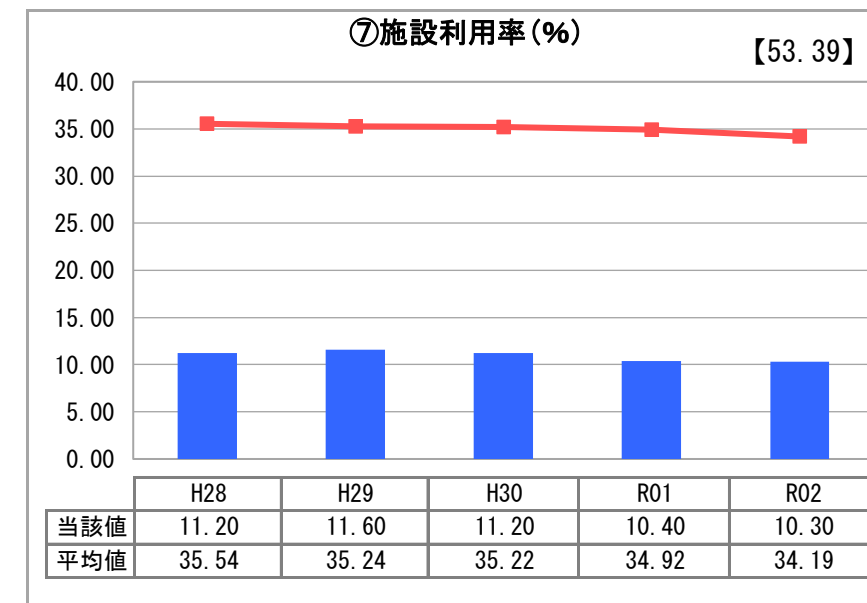
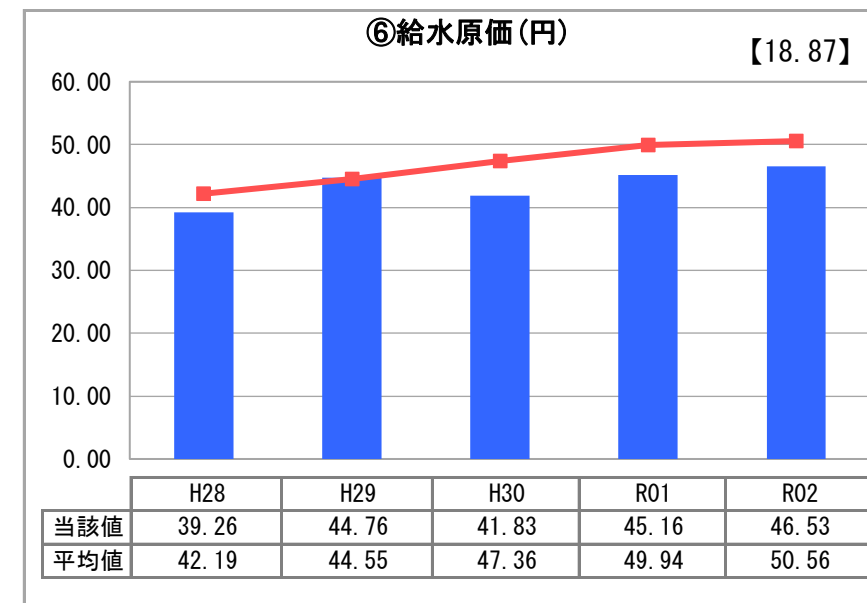
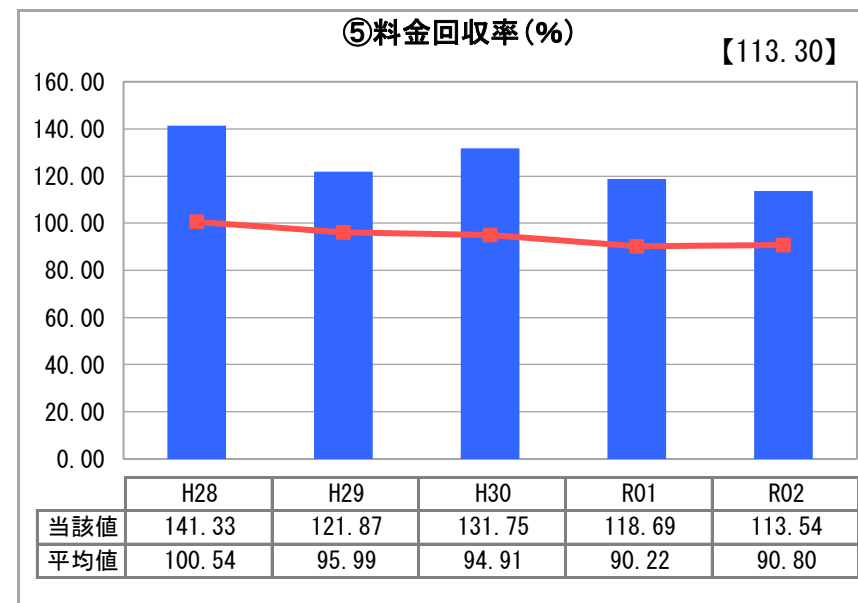
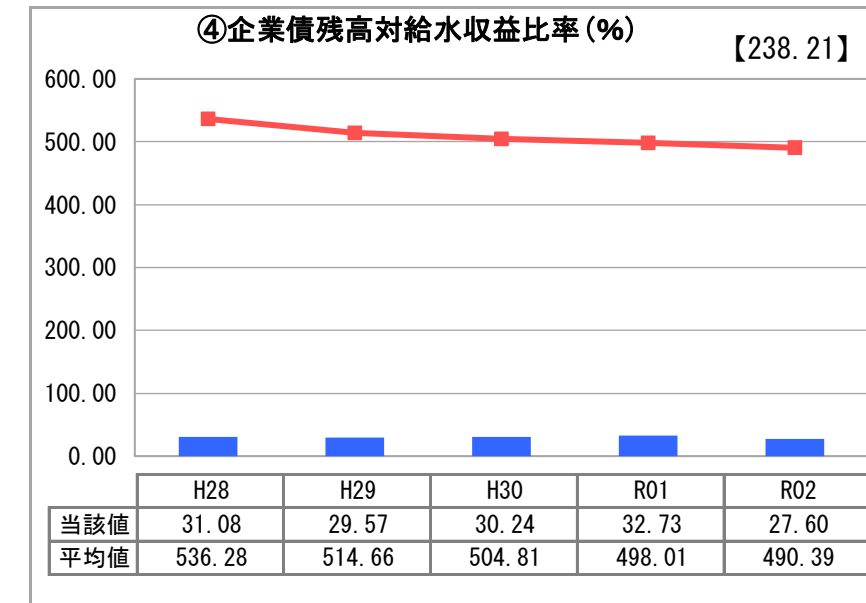
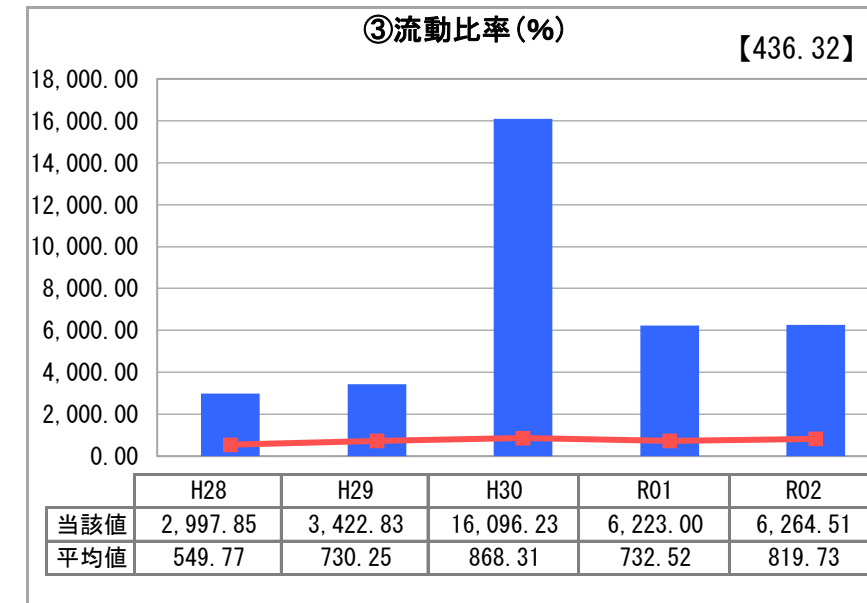
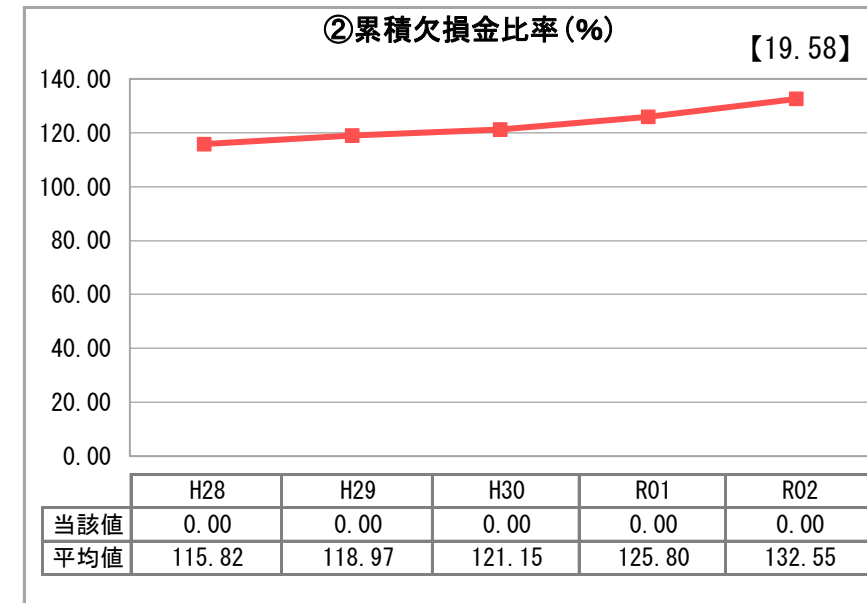
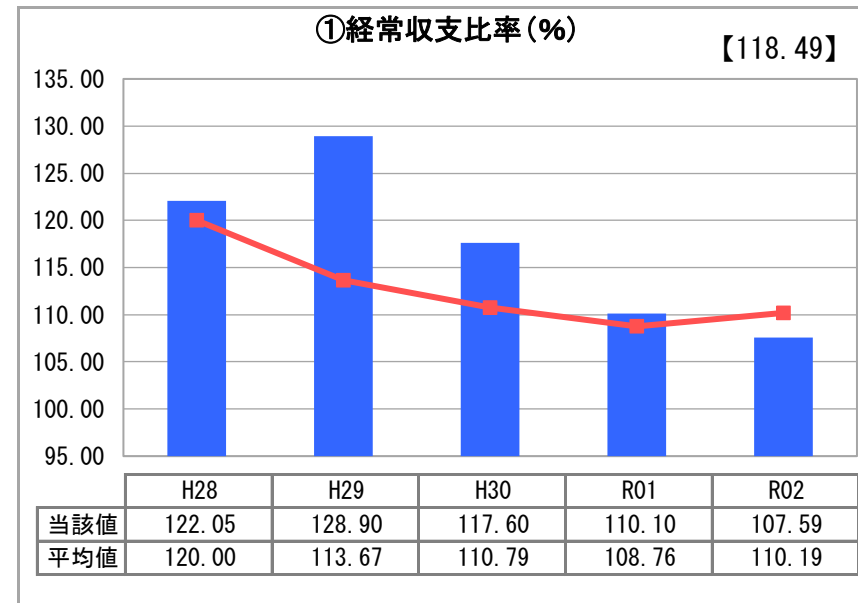
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m ³ /日) 1,000	類似団体区分 極小規模	施設数 1	1日平均配水量(m ³) 103
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 98.5	給水先事業所数 11	契約水量(m ³ /日) 152	管理者の情報 自治体職員	

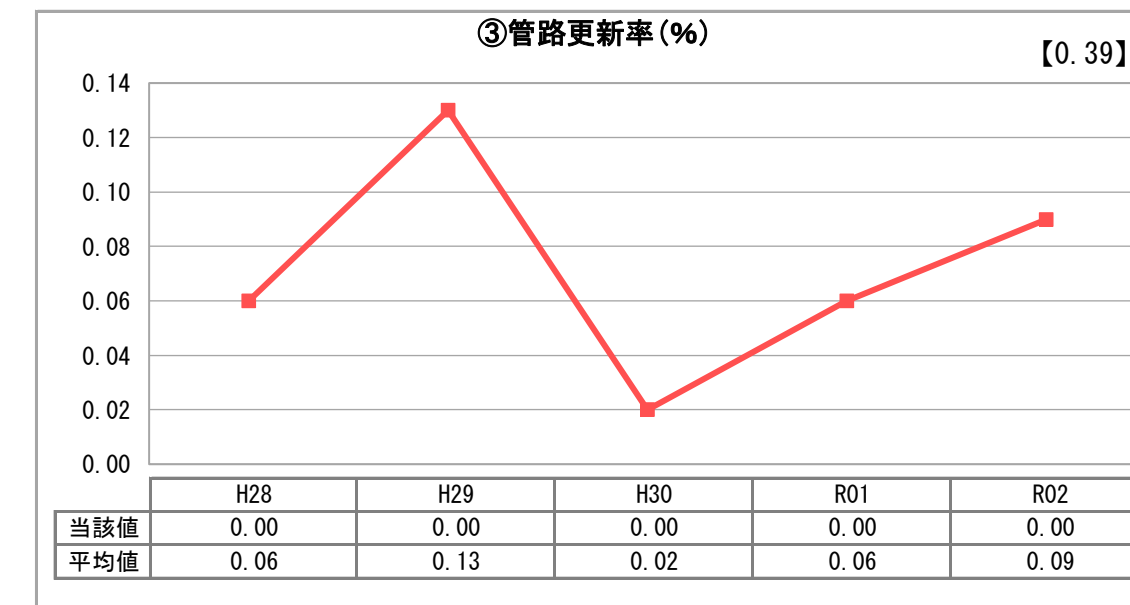
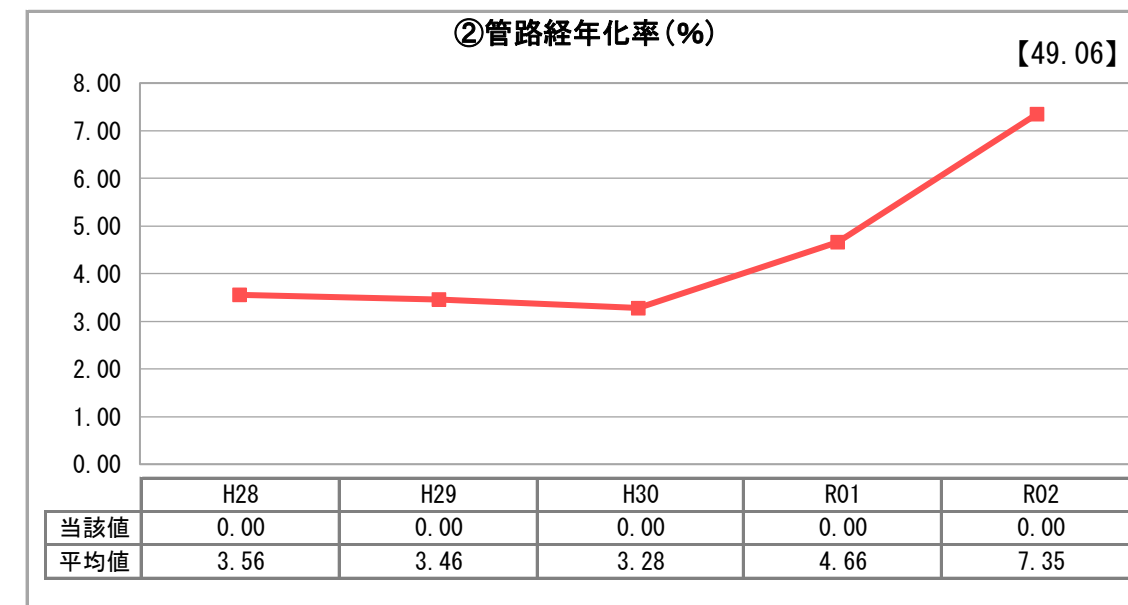
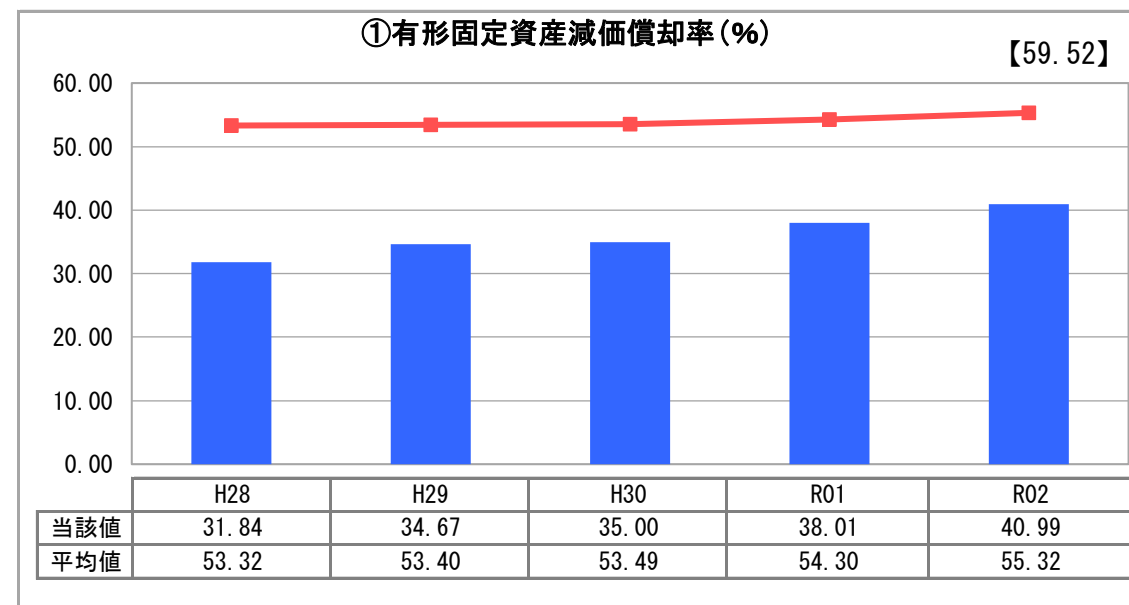
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の工業用水道事業は、平成22年3月23日旧城南町との合併により引き継がれました。平成6年に分譲が開始され、平成10年度から入地が始まり、現在11社に供給しております。規模が非常に小さいため、効率化を進めるには限界がある状態です。

① 経常収支比率は、100%以上を維持し、単年度収支は黒字で推移しています。

② 累積欠損金比率は、0%を示していますが、これは収益的収支に不足が生じた際、一般会計から繰り入れを行っている事によるものです。

③ 流動比率は、類似団体平均値を上回っており、十分な支払い能力がある状態です。

④ 企業債残高対給水収益比率は、平成28年度に起きた熊本地震復旧のため借入を行った事により上昇しました。

⑤ 料金回収率は、平成27年度以降、減価償却費などの経常的な経費が減少したため、全国平均を上回っております。

⑥ 給水原価は、減価償却費などの経常的な経費が減少した平成27年度以降、類似団体平均値とほぼ同じ状態です。

⑦ 施設利用率は、工業団地において未分譲地があるため、配水量の伸び悩みにより類似団体平均値よりも低く推移しています。

⑧ 契約率は、施設利用率同様に工業団地の未分譲地があるため、責任水量制の伸び悩みにより類似団体平均値よりも低く推移しています。

2. 老朽化の状況について

施設及び管路は、平成5年度以降に整備を行っているため、ほとんどの資産が法定耐用年数を超過していません。

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値より低い状態です。

② ③ 法定耐用年数を迎える管路がないため、更新を行っていません。

全体総括

工業用水道事業は、有収水量の増加により料金収入は増加、維持管理費等の費用について、料金収入等で賄うことができたため、一般会計からの繰り入れを受けなくなりました。

工業用水道を提供する城南工業団地の応急仮設住宅については、令和2年度に解体が終了しており、今後は工業用水道を活用する企業の誘致について、引き続き関係部局との連携を図り、経営の安定化に取り組みしていきます。